

催吐リスク High(apr)

乳 Pembro200+A60+C600/d1/c21d ②

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
アプレピタント	内服	125	mg		1
			mg		
デキサメタゾン	注射	9.9	mg		1
グラニセトロン	注射	1	mg	生食 100 mL 30	1
キイトルーダ	200	mg/bo	生食	100 mL 30	1
ドキシソルビシン	60	mg/m ²	生食	100 mL 全開	1
エンドキサン	600	mg/m ²	生食	100 mL 全開	1
				mL	
				mL	

内服薬

アプレピタント 80mg 分1 朝食後 day2,3

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3,4

オランザピン 5mg 分1 眠前 day1,2,3,4

投与基準等

I. 投与に際しての注意事項

術前①Pembro+wTC 療法 4 サイクル施行後に術前②Pembro+AC 療法 4 サイクル施行
術後 Pembro200mg を9サイクル施行 or Pembro400mg を 5 サイクル施行

II. 投与・休薬基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

キイトルーダによる irAE

6週以内にプレドニゾン換算10mg 以下のステロイドでコントロール可能にならなければ投与中止

好中球 $\geq 1500/\text{mm}^3$ 血小板 $\geq 100,000/\mu\text{L}$ Hb $\geq 9.0\text{g/dL}$ Scr ≤ 1.5 Ccr $\geq 50\text{mL/min}$ T-Bill ≤ 1.5 AST,ALT $\geq 2.5 \times \text{ULN}$

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

キイトルーダ

減量基準なし

パクリタキセル

1段階減量 70mg/m²

カルボプラチン

1段階減量 AUC1.1

【weeklyTC 時 フィルグラスチム Day2-6併用可能(ジーラスタは不可)】

AC 1段階 20%減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

Grade3以上 貧血18%、好中球減少34.5%、irAE12.9%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

N Engl J Med 2022;386:556-567 Event-free Survival with Pembrolizumab in Early Triple-Negative Breast Cancer

